



令和4年度

多北高 FRH 通信 第14号

令和4年10月14日(金)
多北高 FRH 推進委員会
探究推進部

2022年度 1,2年生合同大阪研究発表会

令和4年10月4日(金)6限に、大阪研究発表会が行われました。2年生が前期に行った探究的活動で、優秀な研究を行った4つのグループが各教室を結ぶオンラインで発表し、1,2年生が視聴しました。

1年生の感想

★一年生の発表よりも探究を貫くテーマや目標をしっかりと定めていて、そこからブレないように調べている班が多いと感じた。また、掘り下げも深くなぜ、どうして、という理由を、大切にしていることが分かった。特に大阪カップヌードルで質問の受け答えがスムーズだったので参考になった。

★パワーポイントを活用しつつ、実際の体験をもとにまとめられていて、わかりやすい部分が多かった。また、調査して、まとめて終わるのではなく、最初に予想や仮説を立てていた。研修を通して分かった新しい発見を強調する様で、よかったと思う。これからの総合の発表でも、使ってみたいと思う。

★どの発表にも僕に足りていなかった部分がありました。例えば、調べる前に自分の考えを仮説として立てていたり、パワーポイントを使いユーモアのある発表にしたりするなどです。また、全体的に追求の深さが桁違いでした。だから、先輩方の発表を聞いて感じた良さを自分の発表に活かしていきたいです。

2年生の感想

<発表の感想>

★写真や動画が使われていてパワポがとても魅力的でした。分かりやすいし興味ももてるし真似したいです。話し方もみんなが飽きたりしないようにユーモアある話し方で工夫を感じたし、順序だてて説明している点がとても分かりやすかったです。

★難しい言葉の説明だったりとか、途中で笑えるような工夫をしたりとか、プレゼンも見やすく面白くわかりやすく作ってあったりして、聞くのが楽しくてすごくこれから参考にできる発表だったと思います。みんなそれぞれのテーマを深く掘り下げていることが伝わりました。

★全ての発表を通して思ったことは「仮説」を立てる事、「目的」をいうことが研究にとって重要なのだということです。大阪カップヌードルでは特に「目的」が明確にされており、大阪人トリセツでは「仮説」が立てられていたと感じました。その他の発表もとてもよかったです。

<自分の取り組みの感想>

★自分の好きなお笑いをテーマにできたことでより積極的に研究に取り組むことができました。1年生の頃の研究の反省を活かして、パワーポイントの形式を改善したりして、より良い発表になるよう努力することができて満足です。

★初めの沖縄で調べていたことと内容が変わってしまったのが少し残念だけど、班の子と協力し中身のある発表を作れて良かった。人によって調べ方やパワポのまとめ方、説明の仕方に個性があって、良いなと思うところをどんどん吸収できたのが良かった。後期の自由研究では、大阪研究の中で個人的に調べたいなと思うことが1つ浮かんだので、今回見つけた周りの良いところを取り入れつつ、充実した探究活動にしていきたい。



大阪の歴史的建築物 の移り変わり

By 歴史より地理派

大阪人取り扱い説明書
を作ろう！

おかんクラブ